

令和3年度辞令交付式 年度初めのあいさつ（全文）

おはようございます。記憶にない位早くに桜が満開となった中、新たな仲間を迎えて令和3年度がスタートとなりました。

本日入庁された、あるいは南木曾町へ赴任となった皆さんには、まずもって心より歓迎を致します。わからない事は遠慮なく聞いてもらい、一日も早く職場や南木曾の地に慣れ、任された職務や任務を遂行して住民の皆さんの付託に応えて頂きたいと思えます。コロナ禍という大変な状況が続いていますが、同じ職場の仲間として職務に励んでいただくことを期待しています。

さて、新型コロナウイルスが流行拡大して以来、時間ばかりが経過する感さえもありますが、去年の今頃はまさかこれ程までに長期化するとは誰も予測していなかった事と思えます。最近ようやく待望のワクチン接種が始まりましたが、我が町においても担当部署のみならず全職員協力体制のもとで、スムーズかつ安全に作業を進められるようご協力をお願いします。全員が打ち終えるまでに相当な時間が見込まれる事からも、コロナともう暫く辛抱強く付き合っていく覚悟が必要なことも、改めて自覚して頂きながら、業務や生活につくことをお願いしておきます。

コロナ禍の中、人と接触したり話をする機会が大きく減っている事は皆さんも実感している事だと思います。人と会わないと、どうしても人間関係が希薄になり、コミュニケーションも滞りがちです。そんな中で、今年度の職場共通の目標として、今一度『あいさつ』を重点的に取り組んでいきたいと考えます。

役場に来る人は何かしら用事があって来られる方です。気持ちよく用事を済ませて帰ってもらえるためにはどうすれば良いのでしょうか。気配り、聞く姿勢がポイントになる事は以前もお話したと思えますが、一番の基本である『あいさつ』を常に意識しましょう。

「人は見た目が9割」という本がベストセラーになったことがあります。もちろん人柄も、話も、中身も大事だけど、実際には身なり、態度、話し方などの第1印象の影響は大きなものがあるという事です。大きな声で挨拶する必要はありません。馬鹿丁寧な挨拶も必要ありません。こちらが気遣っていることを判って貰えるようにすることが大事です。

「こちらから先に声をかける。」

「目をあわせる。」

「自分に用事でなくても、そばにいる人なら顔を向ける、挨拶をする。」

「相手が立って話している時には、こちらも立つ。」

簡単なことのように、意外と難しい。まずは朝の挨拶から、同僚との挨拶から、心がけていきましよう。挨拶することで、きっと気持ちの良いすっきりとした気分が味わえるはずですよ。

そんな気持ちの良い職場になるよう挨拶はじめ、ちょっとした心遣いや気配りを持ちながら、今年度もよろしくお願ひ致します。

ちなみに明日はオリンピックの聖火リレーがやって来ます。

気持ちの良いリレーとなるよう、こちらにもご協力をお願いします。

